

発言通告書の要旨(一般質問)

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
6/12 (木)	1	10 丸戸研二	1、人口減少時代と地域振興について	(1)人口減少時代の現実をどのように見ているか。 (2)地方分権との関係をどう見るか。(解決できるか。) (3)地域間連携を考える必要がありはしないか。 (4)施策のすそ野を拡大させる必要がありはしないか。 ①空き家活用 ②観光振興など
			2、有害鳥獣駆除対策について	(1)これまでの駆除対策の評価と課題は (2)有害鳥獣の被害拡大に対策が追い付いていないのではないか。 (3)個体数を減少させることが必要でないか。 (4)もっと効果的(現実的)な対策を考案する必要がありはしないか。
			3、小学校統合と児童の安全対策について	(1)学校施設だけでなく、通学も含めた総合的な安全対策計画は ①通学道路の拡張・整備 ②歩道整備 ③横断歩道と信号機 ④スクールバスとバス停施設など (2)整備スケジュールと国・県等への働きかけについて(予算化のタイミングは)
	2	5 横山 強	1、観光振興事業について	(1)旧町時代に執り行ってきたカメリンピックを三豊市の観光事業として復活させてはどうかを問う。 (2)三豊市の観光事業として施策とすることにより三豊市の観光として取り組んでいる浦島伝説による浦島太郎の知名度と三豊市の観光に更なる知名度を全国的に示せると思われるが、この取り組みに対し、当局の施政を問う。
			2、市道整備について	(1)本山寺周辺の市道が狭い、特に市道市道線及び本山停車場線の整備出来なかった経緯を問う。 (2)今現状では市道市道線や本山停車場線は頻りに交通渋滞と危険が伴う本山寺橋の整備について、今後当局の施政を問う。
			3、原材料支給について	(1)23～25年度の土地改良・建設課に伴う原材料支給利用状況を問う。 (2)今現在の原材料支給費上限(20万円)で地域住民による整備の円滑化について、図れておられるのかを問う。 (3)今年度8%・27年度10%の消費税が実施されるとすれば実質20万円の原材料支給費では、土地改良及び建設課に關係する地元住民による地域の環境整備に支障を来すと思われるが、市当局として原材料支給費の見直しを次年度から実施するべきと思われるが、市当局の施政を問う。
	3	18 為広員史	1、宝山湖公園の使用及び予約状況	平成26年4月1日から運用規定が変わり多額の使用料が発生する。平成25年度の利用実績と本年度の利用及び予約状況を聞く。
			2、うらしま号の廃車について	うらしま号の廃車について聞く。

発言通告書の要旨(一般質問)

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
6/12 (木)	4	9 浜口恭行	1、市内の雇用状況、雇用施策について	有効求人倍率が高いとのことだが、直接的に雇用が増え、どこに良い影響があるのか？現在の市内の雇用状況や今後の施策について、当局の考えを聞きたい。
			2、「空き家バンク」の拡充施策について	「空き家バンク」の拡充として、空き工場バンクや空き店舗バンクを開始している自治体がある。好評である三豊市空き家バンクを拡充するべく、次のステップとして市内の工場施設や土地、空き店舗などを有効活用して企業などを誘致し、産業の活性化を図る必要があると思うが、当局の考え方を聞きたい。
	5	7 込山文吉	1、「ふるさと納税」の活用について	「ふるさと納税」は、現状では使い道を選択できる唯一の制度である。この制度を利用してまちづくりに取り組み、大きな成果を上げている自治体も数多くある。我が市の現状と取り組みについてお聞きする。 (1) ふるさと納税に対する我が市の基本的考え方をお聞きする。 (2) ふるさと納税者の推移について考えをお聞きする。 (3) 特産品等、御礼の品を充実させる必要があると考えるが、考えをお聞きする。 (4) 特産品等の御礼を活用して、まちづくりに連動するべきと考えるが、考えをお聞きする。
			2、「デマンドバス」導入について	懸案であるデマンドバスの導入についての基本的考え方をお聞きする。 (1) 4月からのコミュニティバスの乗車率と推移についてのご所見をお聞きする。 (2) 乗車率が低下している路線の乗車率低下理由についてのご所見をお聞きする。 (3) デマンドバス導入により乗車率増加させられるか、必要性も含めお考えをお聞きする。
			3、学校非構造部材の耐震化について	学校校舎等の窓ガラス耐震化についての考えをお聞きする。 (1) 体育館の天井等、非構造部材の耐震は今夏からはじまる。しかし、教室等の校舎棟、特に窓ガラスの耐震化は進んでいるのか。現状をお聞きする。 (2) 環境省の地球温暖化対策事業の補助を受けて教室に飛散フィルムを施行してはと考えるが、お考えをお聞きする。
	6/13 (金)	6	4 石井勢三	1、全国へ、三豊市ピーアールの1番の柱について
2、三野町大和ハウス周辺及び汐木コメリ周辺の排水について				三野町において、この2カ所が、再々にわたり浸水被害がおきている。大雨による排水能力が、十分でないと思われるが、対策としての整備について今後の計画を伺う。
7		2 大平敏弘	1、市長の政治姿勢	『市民がオーナー』立候補時スローガンの一つだったと思うが、今日の心境は
			2、自治会の要望	自治会からの要望反映 手順の確認
			3、行政改革	クローズアップ現代にまちづくりの姿勢を紹介されたが、合併特例終了までの行政改革の今後(行政改革の現在の取り組み状況と今後は)
8	16 鴨田 偲	1、熱中症対策について	三豊市における近年の状況と取り組み及び今後の対策について伺う。	
		2、成年後見制度について	三豊市における近年の状況と取り組み及び今後の対策について伺う。	

発言通告書の要旨(一般質問)

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
6/13 (金)	9	12 詫間政司	1、放課後児童クラブの新たな可能性について	少子高齢化と人口減少によって就労人口不足が懸念されており、女性の社会進出に大きな期待が寄せられている。この認識のもと、国においても就労支援として、保育施設の要件緩和や学童保育児童の受け入れ数の大幅増を目指している。三豊市の放課後児童クラブ事業は、近隣自治体と比較しても制度の充実で先行しているといえ、さらなる質と利便性の向上を図る時期に来ていると考える。就学前から就学へのギャップのない生活環境移行のための、放課後児童クラブの新たな可能性について問う。
	10	6 水本真奈美	1、スマートフォン用三豊オリジナルアプリ開発で健康・観光・防災情報配信事業について	携帯電話特にスマートフォンの普及著しい今日、総務省の「スマートフォンを活用した公共サービス向上とITC人材育成」事業を活用し、スマートフォン用のオリジナル無料アプリを開発し、行政情報、健康、防災、観光情報など配信する取り組みを問う。
			2、ロコモティブシンドローム(運動器症候群)対策について	ロコモティブは骨や関節、筋肉、神経など体を動かす組織全てを指す運動器の意味で、それが全く機能しなくなった状態がロコモティブシンドロームという。近年、介護予防の観点から「ロコモ」が注目され、ロコモは脳卒中や認知症と並んで介護予防を阻む3大要因の一つである。さらなるロコモ対策の啓発普及の取り組みを問う。
			3、子育て応援メール配信の取り組みについて	乳児・幼児の予防接種は定期・任意と数も多く、複雑であり、また、定期健診等、保護者の管理がとても大変で接種忘れや問い合わせも多いとお聞きする。そこで、携帯電話、スマートフォン、パソコンから簡単にアクセスし子ども1人ひとりにあわせた予防接種スケジュール、定期健診の日程、三豊市の子育て情報を配信できる保護者支援のメール配信の取り組みを問う。
6/16 (月)	11	14 西山彰人	1、市民の意見反映について	3月議会でのコミュニティーバスの廃止発言について
			2、公共財産の有効利用について	三豊市の公共施設などに対する基本的な考え方について
			3、三豊市の基本構想について	基本構想がどのように理解され、市政に活かされているのか
			4、人口を増やす政策について	出産祝い金の復活や保育料の値下げにより子育てしやすい三豊市をアピールしては
		12	8 瀧本文子	1、防災・復興に男女共同参画の視点を
			2、学校給食等における食物アレルギー対応について	H24年に調布市で、学校給食終了後に食物アレルギーによるアナフィラキシーショックの疑いで、児童が亡くなるという痛ましい事故があった。その後も食物アレルギーによる死亡事故は増加し、学校現場等での対応に、戸惑いや不安の声もあるといわれ、適切な対応の重要性がいわれている。三豊市の状況についてお聞きする。 (1)三豊市のアレルギー児童、生徒の現状と対応の状況 (2)新給食センターの対応体制について

発言通告書の要旨(一般質問)

質問日	質問者順	議席/氏名	件名	要旨
6/16 (月)	13	1 岩田秀樹	1、自治会未加入者への防災活動への取り組みをどう働きかけるか	三豊市でも自治会加入世帯が8割を切っている。これからもし災害が発生した場合、地域住民が助けあうことが求められる。防災マップなど配布を行い、地域の問題を意思統一するような取り組みが必要なのではないか。
			2、文書管理法に伴う文書の管理対策の状況	文書管理法の制定により、公文書管理と情報公開が整ったと言われている。三豊市は土地開発公社の資料を廃棄した経験がある。これらを踏まえて市の対策はどうするのか。
			3、自転車の通行ルール改正に伴う道路整備について	道路交通法の改正で自転車はクルマの仲間に位置づけられた。しかし3つの例外規定があるなど複雑なルールとなっている。歩道の活用を計画的に行い、道路標識の設置や歩道の連続性を十分検討し縦割りにならないように進めてほしい。
			4、義務教育1学級35人以下の実現を	市内小中学校は、学校規模に格差があり1学級の人数も10人台から40人近くの学校まで様々である。一時は35人学級を実現する取り組みで2年生まで予算がついている。英会話の取り組みも素晴らしい、それも日常の上にあるということではないか。
			5、子育て向け「公園の設置」を	三豊市には公園はあるが、古い公園ばかりである。遊具も古く小さな子どもが親と遊びに行くところがない。砂場には囲いをし、遊具もパイプの旧式ではない。何カ所もというのが無理であれば、市役所周辺整備に取り入れられないか。
			6、風疹ワクチン無料接種について	風疹抗体検査が県の予算で2回抗体検査を実施する補助事業が開始される。これに伴い予防接種に伴う経費を補助する事業をいつから開始するのか。
	14	13 三木秀樹	1、戦争できる国づくりが進行していることに対する見解	(1)安倍政権は憲法の立憲主義の否定、集団自衛権の行使による憲法の平和主義の否定など、強引に憲法を明文改憲するための地ならしを進めている。 (2)内閣の閣議決定は、憲法98条違反である。安倍内閣の暴走に対する市長の見解を聞く。
			2、公共施設の改廃方針を無視するのか	(1)市長の思いつきが目立つが、議会の公共施設整備調査特別委員会の方針を知っているのか。 (2)北部給食センターに関して、昨年11月末に地元の各戸に方向チラシを配布しながら、その後はどうなっているのか。
			3、農業振興政策について聞く	(1)H21年12月の法改正以前と現在でのメリット、デメリットを聞く。 (2)三豊市にあった施策ができるよう県に具申すべきでないか。
			4、地域福祉について	(1)行政と民間の地域福祉(社協)の違いはなにか。 (2)1億300万円の補助金を出している団体(社協)でいろいろ問題があることを知っているか。